

森友事件は未解決!

怒りのデモを!



第95回 2026年2月28日(土)

午前11時集会、野田中央第2公園

11時40分 デモ出発※阪急庄内駅まで、
※12時20分ごろ解散

阪急宝塚線の庄内駅から線路ぞいに北、宝塚方向へ進み二つめの信号を左折すると庄内さくら学園中、そのとなりが野田中央公園と第2公園。庄内駅から北西約1km。

戦争したがる高市、許さない!

高市の「台湾有事=存立危機事態」発言によって、対中国戦争の危険性が一気に高まりました。私たちには、絶対にそんな戦争事態にさせないためのたたかいが求められています。

森友事件の真相究明に立ちふさがる高市!

私たちが危惧したとおり、高市は国会の場で森友事件の「新たな事実が判明していないため、改めて第三者による調査が必要とは考えておりません」と再調査を否定しました。さすがアベの後継者です。

「新たな事実が判明していない」って、まったくのウソです。国土交通省自身が、森友文書開示が進む中で、隠しきれなくなって国有地のゴミ埋蔵量が、従来、国が主張していた量の「4分の1」しかないことを明らかにしています。これが新たな事実でなくて何なのか!ということですよ(この「4分の1」も疑わしいが)。

高市はアベの後継者だけあって息を吐くように平気でウソをつけるわけです。

アベ・自公政権の権力犯罪、さらに高市による森友事件封殺行為を絶対に許さないたたかいを継続していかねばなりません。



森友事件とは

森友学園が「教育勅語」を用い天皇制による軍国主義的な教育をするためにつくろうとした「瑞穂の国記念小学院」。その用地が国から8億円もの大幅で不当な値引きがされて、払い下げられたという疑獄事件です(2017年2月発覚)。その背景には安倍元首相の妻、安倍昭恵から財務省に対する働きかけや、前大阪府知事松井一郎(大阪維新)による違法な「認可」がありました。

安倍昭恵や政治家の関与を示す証拠を消すために、公文書改ざんという犯罪行為が行われたのです。

その公文書改ざんに加担させられた近畿財務局職員の赤木俊夫さんが、罪の意識から自死に追い込まれました。

遺された妻の赤木雅子さんは、夫が自死に追い込まれた真相を知りたい一念で、国にたいして損害賠償の裁判を起しましたが、岸田政権(当時)は真相を隠すために2021年12月に「認諾」という手法で裁判を強制終了させました。また、佐川理財局長(当時)に対する損害賠償請求の裁判も2025年3月に最高裁が雅子さんの上告を棄却しました。

しかし、雅子さんの三つめの訴え、公文書公開請求裁判では、2025年1月大阪高裁が国・財務省の不開示決定は不当との判決を出し、石破政権が上告を断念したので、現在、少しずつ文書開示がおこなわれています。

WANTED!真犯人 森友事件は未解決!

森友学園問題追及10年目

怒りの集会・デモ 第96回

日時:4月5日(日)午後2時~4時

場所:豊中市立文化芸術センター

阪急「曾根」駅下車

講演:木村 真 豊中市議

「森友学園疑獄」を許すな!実行委員会 [連絡先] FAX 06 6304 8431